

# 平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ソディックプラステック  
 コード番号 6401 URL <http://www.plustech.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長代理  
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月13日

(氏名) 藤川 操  
 (氏名) 吉岡洋二郎  
 配当支払開始予定日

TEL 045-478-1880  
 平成20年12月8日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第2四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第2四半期	7,789	31.9	258	—	247	—	42	—
20年3月期第2四半期	5,903	△22.4	△4	—	△48	—	△26	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第2四半期	2,566.35	2,518.88
20年3月期第2四半期	△1,643.51	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第2四半期	15,303	—	4,331	27.8	—	—	254,786.78	—
20年3月期	14,752	—	4,185	27.9	—	—	249,175.79	—

(参考) 自己資本 21年3月期第2四半期 4,252百万円 20年3月期 4,112百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	2,500.00	—	2,500.00	5,000.00
21年3月期	—	2,500.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	2,500.00	5,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△1.1	260	△46.2	250	△42.8	30	△89.0	1,817.63

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第2四半期 16,702株 20年3月期 16,514株

② 期末自己株式数 21年3月期第2四半期 12株 20年3月期 9株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第2四半期 16,505株 20年3月期第2四半期 16,298株

### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年11月12日付「平成21年3月期第2四半期累計期間(連結・個別)業績予想との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」において、業績予想の修正を行っております。

2. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素が含まれているため、実際の業績等は、今後様々な要因によって上記予想と異なる場合があります。

3. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場への不安感、原油価格の高騰、株式相場の低迷等により、個人消費や設備投資が伸び悩み、景気の減速感が一段と高まってまいりました。当業界におきましても自動車関連及び電子部品関連業界の需要の低迷に加え、中国を中心とする新興国の景気の不透明感が強まりました。

このような状況の中、当社グループにおける射出成形機部門につきましては、前年同期と比較して、国内市場では電子精密部品業界向けを中心として、受注及び売上はやや低調に推移いたしましたものの、海外向けにつきましては、主にアジア地区におきまして、台湾向けの売上が増加いたしました。特機部門につきましては、液晶製造関連業界の設備投資の回復から検査装置向け等の精密ステージの売上が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,789百万円、営業利益は258百万円、経常利益は247百万円、四半期純利益は42百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は15,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ550百万円増加いたしました。

その主な内容は、現金及び預金の減少247百万円、たな卸資産の増加628百万円によるものです。

また、負債の部は10,971百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円増加しております。

その主な内容は支払手形及び買掛金の増加96百万円、短期借入金の増加632百万円、製品保証引当金の増加81百万円及び、長期借入金の減少293百万円によるものです。

純資産の部は4,331百万円となり、前連結会計年度末に比べ146百万円増加となりました。

その主な内容は、利益剰余金の増加101百万円、新株予約権の増加15百万円によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月15日の決算発表時に公表いたしました業績予想を修正しております。詳しくは、本日、別途公表致しました「平成21年3月期第2四半期累計期間（連結・個別）業績予想との差異及び通期（連結・個別）業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

#### 4. その他

##### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

##### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

###### ①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

###### ②法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

##### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### ①四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

###### ②重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

###### 棚卸資産

通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、評価基準として原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

なお、これによる第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

###### ③売上計上基準の変更

第1四半期連結会計期間より当社グループの製造する機械本体の国内向け売上計上基準を出荷基準から検収基準に変更しております。

この変更は、機械本体の複雑化、高度化が進み、出荷から検収までの期間が長期化する傾向にあること、これに伴い出荷から検収までの社内管理体制の強化により、検収日の把握が可能になったことから収益の実態をより適切に反映させるために行うものであり、また、親会社である(株)ソディックの機械本体の売上計上基準に統一する観点から行うものであります。

この変更に伴い、従来の方法に比べて、第2四半期連結累計期間の売上高は259,539千円、売上原価は222,766千円それぞれ減少し、売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は36,772千円それぞれ減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響については、当該箇所に記載しております。

###### ④製品補修に係る費用計上区分の変更

第1四半期連結会計期間より当社グループが販売した機械本体の無償補修等に係る費用の計上区分を「販売費及び一般管理費」から「売上原価」に変更しております。

この変更は、近年、製品補修に係る費用の重要性が増加していることを受けて、その内容を再検討した結果、売上高と個別に対応させる性質を有すると判断し、より適切に損益区分を表示するために行うものであります。

この変更に伴い、従来の方法に比べて、第2四半期連結累計期間の売上総利益は202,007千円減少しております。

なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

###### ⑤重要な引当金の計上基準の変更

###### 製品保証引当金

当社グループが販売した機械本体の無償補修費用は、従来支出時の費用として処理しておりましたが、第1四半期連結会計期間より過去の売上高に対する支出割合に基づき製品保証引当金を計上する方法に変更しております。

この変更は、近年、製品保証に伴う費用の重要性が増加していること及び将来の無償補修費用を合理的に見積ることが可能となったことから、期間損益計算のより一層の適正化と財務体質の強化を目的に行うものであります。

この変更により、第2四半期連結累計期間の繰入額81,000千円は売上原価に、過年度分相当額

81,901千円は特別損失に計上しております。この結果、従来の方法に比べ、第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益は901千円それぞれ増加し、税金等調整前四半期純利益は81,000千円減少しております。

なお、セグメント情報に与える影響は、軽微であるため記載しておりません。

⑥「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

## 5. 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,053,665	1,300,904
受取手形及び売掛金	5,907,844	5,596,979
製品	1,002,835	508,856
仕掛品	1,033,520	1,173,377
原材料	1,465,022	1,190,644
その他	317,765	423,663
貸倒引当金	△17,702	△1,177
流動資産合計	10,762,950	10,193,247
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,736,081	1,804,024
機械装置及び運搬具(純額)	1,179,762	1,178,825
土地	1,161,543	1,161,574
その他(純額)	164,768	56,261
有形固定資産合計	4,242,156	4,200,685
無形固定資産		
投資その他の資産	13,254	9,840
その他	326,339	390,316
貸倒引当金	△41,634	△41,162
投資その他の資産合計	284,704	349,154
固定資産合計	4,540,114	4,559,680
資産合計	15,303,065	14,752,928
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,743,020	5,646,993
短期借入金	2,608,937	1,976,753
未払法人税等	99,289	66,218
賞与引当金	96,216	—
製品保証引当金	81,000	—
その他	396,314	672,074
流動負債合計	9,024,777	8,362,039
固定負債		
長期借入金	1,563,469	1,856,786
退職給付引当金	126,026	115,947
債務保証損失引当金	1,208	—
その他	255,716	232,910
固定負債合計	1,946,421	2,205,644
負債合計	10,971,198	10,567,683

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,211,375	2,192,570
資本剰余金	636,355	617,550
利益剰余金	1,404,206	1,302,631
自己株式	△2,987	△2,611
株主資本合計	4,248,950	4,110,140
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,922	△752
為替換算調整勘定	5,109	3,009
評価・換算差額等合計	3,186	2,257
新株予約権	44,724	29,208
少数株主持分	35,005	43,638
純資産合計	4,331,867	4,185,244
負債純資産合計	15,303,065	14,752,928

## (2) 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
売上高	7,789,819
売上原価	6,423,716
売上総利益	1,366,103
販売費及び一般管理費	1,108,099
営業利益	258,003
営業外収益	
受取利息及び配当金	229
固定資産賃貸料	16,880
補助金収入	21,000
その他	12,506
営業外収益合計	50,616
営業外費用	
支払利息	37,347
持分法による投資損失	7,064
固定資産賃貸費用	11,039
その他	6,084
営業外費用合計	61,535
経常利益	247,083
特別利益	
前期損益修正益	37,000
固定資産売却益	238
債務保証損失引当金戻入額	9,028
特別利益合計	46,266
特別損失	
前期損益修正損	85,151
固定資産除却損	10,337
製品保証引当金繰入額	81,901
会員権評価損	19,800
特別損失合計	197,190
税金等調整前四半期純利益	96,159
法人税、住民税及び事業税	78,042
法人税等調整額	△18,644
法人税等合計	59,397
少数株主損失(△)	△5,596
四半期純利益	42,357

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	96,159
減価償却費	222,625
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	16,990
受取利息及び受取配当金	△229
支払利息	37,347
有形固定資産売却損益 (△は益)	△238
有形固定資産除却損	10,337
会員権評価損	19,800
売上債権の増減額 (△は増加)	△236,764
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△567,475
仕入債務の増減額 (△は減少)	146,341
持分法による投資損益 (△は益)	7,064
前受金の増減額 (△は減少)	△139,174
その他	208,088
小計	△179,127
利息及び配当金の受取額	229
利息の支払額	△37,974
法人税等の支払額	△67,632
営業活動によるキャッシュ・フロー	△284,505
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	30,000
投資有価証券の取得による支出	△1,314
有形固定資産の取得による支出	△231,233
有形固定資産の売却による収入	3,780
無形固定資産の取得による支出	△4,985
その他	△30,393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234,145
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	220,978
長期借入れによる収入	600,000
長期借入金の返済による支出	△467,661
長期未払金の返済による支出	△71,556
株式の発行による収入	0
配当金の支払額	△41,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	240,264
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,282
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△280,669
現金及び現金同等物の期首残高	1,270,904
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	63,430
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,053,665

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## a. 事業の種類別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	射出成形機 関連事業 (千円)	特機関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	5,447,199	2,342,619	7,789,819	—	7,789,819
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,447,199	2,342,619	7,789,819	—	7,789,819
営業利益	409,286	204,225	613,512	(355,509)	258,003

(注) 1. 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2. 各区分の主な製品

(1) 射出成形機関連事業 … 射出成形機等

(2) 特機関連事業 … 精密ステージ等

3. 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用（355,509千円）の主なものは、親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

4. 会計処理の方法の変更

(売上計上基準の変更)

「4.その他」(3)③に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より当社グループの製造する機械本体の国内向け売上計上基準を出荷基準から検収基準に変更しております。この変更に伴い従来の方法によった場合に比べ、射出成形機関連事業の売上高が90,991千円、営業利益が11,370千円、それぞれ減少し、特機関連事業の売上高が168,548千円、営業利益が25,401千円、それぞれ減少しております。

## b. 所在地別セグメント情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## c. 海外売上高

当第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	北・南米地域	アジア地域	計
I 海外売上高(千円)	360,065	2,774,199	3,134,265
II 連結売上高(千円)	—	—	7,789,819
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.6	35.6	40.2

(注) 1. 国または地域は、地理的近接により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北・南米地域 … アメリカ、メキシコ

(2) アジア地域 … 中国、台湾、香港、韓国、タイ、シンガポール

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前中間連結会計期間

区分	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	
	金額(千円)	百分比 (%)
I 売上高		5,903,953 100.0
II 売上原価		4,777,643 80.9
売上総利益		1,126,309 19.1
III 販売費及び一般管理費		1,130,898 19.2
営業損失(△)		△4,589 △0.1
IV 営業外収益		
1 受取利息	506	
2 受取配当金	136	
3 受取手数料	14,260	
4 役員保険解約収入	—	
5 賃貸料収入	5,449	
6 その他	10,836	31,188 0.5
V 営業外費用		
1 支払利息	39,284	
2 持分法による 投資損失	8,048	
3 賃貸用固定資産 諸費用	11,705	
4 貸倒引当金繰入額	13,643	
5 その他	2,280	74,963 1.2
経常損失(△)		△48,363 △0.8
VI 特別利益		110 0.0
VII 特別損失		258 0.0
税金等調整前中間 純損失(△)		△48,511 △0.8
法人税、住民税 及び事業税	4,265	
法人税等調整額	△25,970	△21,705 △0.4
少数株主損失 (△)		△19 △0.0
中間純損失(△)		△26,785 △0.4